

### 春日井に障害者雇用の貸農園

## 市内の企業を優先 開設会社と市協定



協定を締結した伊藤市長(左)と和田社長(右)＝春日井市役所で

春日井市内で障害者雇用を目的とした企業向けの貸農園を開設する「エスプールプラス」(東京都)と同日は三十日、市内の企業への貸し出しや障害者採用を優先する内容の連携協定を締結した。

同社は既に全国十三万所以上にわけてはびねす農園を展開し、計千人以上の障害者を雇用を創出している。県内は豊明市、みよし市に続き三力所目となる。

春日井市の農園は約一万平方メートルの敷地にヒニールハウス四棟を造る予定。区画を分割して企業に貸し出す。四棟で計七十五人の障害者の雇用を見込む。給与は農園を借りた企業に対して、雇用一人当たり十万円ほどの支払いを要請する。

ハウス内では野菜や果物など約四十種類を栽培できる。軽石を使う資液栽培のため、砂ぼこりが舞わず、くわも使用しないので、障害者が神経質になる心配が無いという。収穫物は販売収益を目標とするより、農園を借りた企業で働く社員の間で障害者雇用への理解が深まるよう、社内配布などを提案する。

市役所であった締結式では、伊藤大市長と同社の和田一紀社長が協定書に署名をサポットする人材も必要で、市と連携を取り雇用を生み出したい」と話した。(丸山羅平)